

第2学年 学年だより



～学校・生徒・家庭をつなぐ～

平成26年3月10日発行

2年生としての学校生活も、残りあと2週間となりました。17日(月)に行われる卒業式に向けて、3年生のために素晴らしい式にするために、身なりを整えたり、式場の準備に取り組んだりしていきましょう。また、合唱によって中学校に迎えられ、合唱によって成長し、合唱によって送られるのが滑中の伝統です。素晴らしい合唱を3年生と共に作り上げましょう。

卒業式というのは、在校生にとってもこの1年間の自分のしてきたことや考えてきたことを振り返る良い機会となります。そして、最高学年に進級する心構えを新たにもってもらいたいと思っています。また、いつも自分を支えてくれている友達、いつも自分を導き見守ってくれている親や先生がいることに改めて気付くことができる瞬間でもあります。生徒のみなさんには、この卒業式から何かを感じ、学び、心の糧にしてもらいたいと願っています。

保護者の皆様には、お子さんの進級を前にして、この1年間の成長を振り返っておられる方も多いと思います。春休み前のこの時期は、子どもたちの気持ちも解放的になってきます。最上級学年に進級することへの目標をもって、元気に様々な活動に取り組んでももらいたいと思います。ご家庭でも心身両面からの目配り、気配り、励ましをよろしくお願いいたします。

なお、3学期末の保護者懇談会はありませんが、気がかりなことや相談されたいことがある場合は、担任の方へご連絡ください。



【3月の行事予定】 ※予定は変更になることがあります。

11日(火)～12日(水) 県立高校入試(3年生)

14日(金) 卒業式予行、式場準備

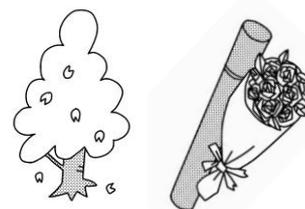
17日(月) 第56回卒業式

18日(火) 県立高校合格発表

20日(木) 給食終了

21日(金) 春分の日

24日(月) 修了式、離任式



【4月の主な行事】

4日(金) 始業式

8日(火) 入学式

9日(水) 給食開始

10日(木)、11日(金)

中教研学力調査

19日(土) 授業参観、育成会総会

21日(月) 振替休業日

—保護者の方へお願い—

制服及び体育服の購入について

昨年度もお願いしましたが、身長も随分と伸び、学生服やセーラー服が短くなってきた生徒も見受けられます。進級に合わせてズボンや学生服を新しく購入されるご家庭もあるかと思いますが、以下の事に留意してご購入いただくようお願いいたします。

- ① 不要になったり体格に合わなくなったりした制服や学用品の売買が心配されます。トラブルのもととなるので、生徒同士での物品のやりとりは、たとえお金の出入りなしでも行わないように指導しています。
- ② 近年、インターネットでズボンや制服が購入されるケースがありますが、標準でないものを保護者の方には標準であると偽って購入したり、保護者の方が知らぬ間に購入したりするトラブルが発生しています。
- ③ 新しいものを購入される際は、お子さんの体型にあったものを購入してください。以前に男子生徒が、わざと大きいウエストサイズのズボンを購入し下げてはくケースがありました。そのため、裾も擦り切れてぼろぼろになり、非常にみっともない格好でした。また、体育服(ズボン)も必要以上に大きいサイズを購入すると、かえって運動の妨げになりますので購入の際には、保護者の方の適切な判断をお願いいたします。

携帯電話の購入、使用について

学年懇談会の折にも話題にあげましたが、スマートホンや通信機能付きの音楽プレーヤーの購入や使用にあたっては、ご家庭の責任においてお願いしてきております。

本年度も、メールやラインに関わるトラブルや個人写真(自他問わず)を添付して送るなどのトラブルがありました。また、不要物持ち込み調査からは、校内に持ち込んでいる生徒が少なからずいたことも分かりました。

保護者の方には、携帯電話の使用に際しては目の行き届くところでの使用をするようにしていただき、ご家庭での約束や学校へ持ってこないことなどを守らせるようお願いいたします。また、修学旅行等でも不要物をもってこないように保護者の方のご理解とご協力をお願いします。

予餞会を終えて 3年生に贈ります ～感謝・エール・笑顔という名のプレゼント～

予餞会では、3年生に今までお世話になった感謝の気持ちを存分に伝えられたのではないかと思います。予餞会はすでに準備から始まっていて、そのときからみんなで気持ちを込めて取り組んでいたからこそ成功したのではないかと思います。今まで本当にお世話になった先輩方に楽しんでもらえたと思うので、良かったです。今度は卒業式があるので、合唱などで後輩の手本になれるような行動をとりたいです。卒業式が先輩方に感謝できる最後の場所なので、卒業式も今日みたいにしたいです。

(1組男子)

私は、絵と詩の係でしたが、それぞれの係みんなで3年生に感謝の気持ちを伝えることができたと思うので良かったです。風邪がとても流行っていて、劇が心配でしたが、無事に終わってとても安心しました。他に、先生方の出し物や1年生の劇も楽しむことができました。これからは、3年生の代わりに2年生が学校を引っ張っていかなくてはいけないんだなど予餞会を終えて実感しました。自分が3年生になるということをもっと意識して、残りの2年生の生活を送っていきたいです。 (1組女子)

今年の子餞会は、だるま係でした。本番は何もしないので、その分、子餞会の準備ではがんばって作業をしました。本番では、面白い出し物が多くて、来年もこんな子餞会だったらいいな、と思いました。僕も、もう少しで3年生になり、次の子餞会では、祝う方から祝われる方になります。そのときに、一生懸命に祝ってもらえるような3年生になれるようにがんばっていきたくです。また、もう少しで卒業式があります。それに向けて合唱練習をがんばりたいです。

(2組男子)

私はこの子餞会でステンドグラスを制作する係でした。役者や合唱の人たちのように目立つ役割ではなかったけど、3年生が廊下に出たときに少しでも「きれい」「すごい」などと思って見てもらえるように丁寧に仕上げました。カッターで絵の下書きを細かく切っていく所や、配色したとおりにセロハンを貼っていくのはとても大変だったけれど、失敗しないように気を付けて、完成したときはとても達成感がありました。子餞会は劇や合唱を3年生にプレゼントするというイメージを思い浮かべるけれど、私は、2年間、掲示物の係をしましたが、決してそれだけが子餞会ではないのだと思いました。来年は、3年生として子餞会に出るので、「先輩への感謝」ではなく、「滑中への感謝」を態度で示したいです。

(3組女子)

子餞会では、合唱を担当しました。子餞会本番では、自分の出せる声を思いっきり出して歌えました。また、先輩方にも感謝の気持ちを伝えられたと思うので、本当によかったです。でも、僕にとってびっくりしたことがあります。それは先輩方の出し物です。なぜかと言うと、去年の3年生は手紙でお礼をしてくださっていたのに、今年は劇をしてくださったからです。先輩方の劇はとても面白かったし、こうやって言葉でお礼を言われたので本当に嬉しかったです。最高の子餞会ができて、本当に良かったです。

(2組男子)



僕は、3年生にとってもお世話になりました。部活動や委員会、体育大会などでいつも先頭に立って僕らを引っ張ってくれました。特に部活では、僕が上手くできないことやわからないことをいつも丁寧に教えてくれました。だから、僕は子餞会を通して、3年生の先輩に今までの感謝の気持ちをしっかりと伝えることができたと思いました。そして、来年度からは僕も3年生になるので今年のように後輩から感謝されるような先輩になりたいと思いました。

(3組男子)



僕は、子餞会の役者で白の使者をしました。セリフを言うときは緊張しなかったけれど、立っているときは緊張しました。感謝の気持ちを込めて、一生懸命演じました。他の出し物も、面白いものやとても上手なものがたくさんあり、全部が良かったと思います。目標の「感謝の気持ちを100倍返した」を達成することができました。3年生に気持ち良く卒業してほしいです。

(4組男子)

私は、特に部活動で先輩方にお世話になりました。私は初め、何をやらなければいけないのか分からず、たくさん迷惑をかけてしまいました。しかし、先輩方にはやさしく、時には厳しく指導していただきました。だから、先輩方にはとても感謝しています。私は小道具係なので舞台には上がっていないのですが、今日のために一生懸命取り組んだので、この気持ちが先輩方に少しでも伝わっていたら嬉しく思います。来年、私たちは3年生になるので、後輩から「先輩に感謝の気持ちを届けたい」と思ってもらえるような「先輩」になりたいです。

(4組女子)

私は、今日の子餞会が滑中生全員と先生方の協力があったから大成功したのだと思いました。なぜなら、劇をするための大道具や小道具を作る1、2年生、その絵具を用意して下さった先生など、1つの出し物にたくさんの人の協力があったからです。そのおかげで、1年生の劇は会場に笑いを届けるもの、2年生の劇は、シリアスながらも3年生を応援するメッセージ性の高いものになったと思います。私は絵馬だったので、ステージの上では何もしなかったけれど、どの絵馬も感謝の気持ちがこもった良い絵馬になりました。3年生の先輩方が退場される時にみんなの絵馬を褒めてくださっていて、とても嬉しい気持ちになりました。代を引き継いだ最初の行事は良いスタートをきれたと思います。

(4組女子)

今回の子餞会では、初めてステージに立ち、出し物や代表の挨拶を行いました。とても緊張しましたが、なんとか乗り切ることができ、良かったです。1・2年生の劇では、3年生の先輩方にも喜んでいただき、また自分たちも考えさせられる場面が多く、とても良い機会となりました。3年生の先輩方に、安心して任せられると思ってもらえるような子餞会になったと思います。

(5組男子)



今回の子餞会は、2年生が主体となって創った初めての行事になりました。1年生も2年生も、一人一人がそれぞれの役割を果たすことができ、感謝の気持ちを3年生に少し伝えられたと思います。でも、この子餞会だけでは伝えきれないことがまだあると思うし、僕たちは3年生に追いつき、抜かさなければならぬと思います。本当の意味での感謝は、3年生が安心して卒業してもらえるように僕たちが伝統を受け継ぐことだと思います。残り1ヶ月でそうなりたいです。

(6組男子)

僕はこの子餞会を通して、3年生の先輩方に感謝の気持ちを伝えられたと思います。本番では役者として、先輩方に感謝の気持ちを伝えようと、腹から声を出し、感情をこめて役を演じることができたと自分では思います。また、放送委員としても、裏方から応援をし、子餞会を盛り上げようと集中して作業ができたと思います。子餞会は終わりましたが、まだまだ、先輩方への感謝は伝えきれていないので、卒業式でもしっかり頑張りたいです。

(5組男子)

私は子餞会で合唱を担当しました。練習では注意されたことを毎回、意識できてよかったです。本番では少し緊張したけれど、練習してきたことを出せて、素晴らしい合唱になったと思います。また、3年生のことをさらに知ることができ、楽しかったです。2年生の劇は将来について考えさせられたし、感動しました。3年生の合唱はとてもきれいで、さすがだなと思いました。もうすぐ3年生も卒業だという実感がしてきて、3年生のような先輩になりたいと思いました。今、3年生になるための準備をしっかりとっておきたいです。

(5組女子)

私は、小道具係として活動しました。劇でどのように使われる道具なのか、イメージがつかず大変でしたが、無事完成させられて良かったです。今回の子餞会では、2つのことを学びました。1つ目は、協力することは、難しくても大変な仕事を簡単にする、ということです。2年生全員で力を合わせたからこそ、素晴らしい子餞会にできたのだと思います。一人一人の持つ力は小さくても、合わせれば大きな力になると分かりました。2つ目は、伝統を受け継ぐことの大切さです。子餞会は、いつから続いているのか分かりませんが、これまで先輩方が続けてきたからこそ、素晴らしい伝統になったのだと思います。合唱など、滑川中学校には守るべき伝統がたくさんあるので大切にしていきたいと思いました。

(6組女子)